

# 函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理シート

【平成25年度計画における局内評価結果および経営懇話会意見等】

平成26年11月

函館市企業局

## 1 財政収支試算等の計画・実績

## (1) 財政収支試算

(単位:百万円、税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画
事業規模	1日走行キロ(km)	2,735	2,750	2,735	2,755	2,735	2,740	2,735	2,745	10	2,735	2,735	2,735	2,735
	1日乗客数(人)	16,298	15,988	16,129	15,578	15,981	15,156	15,853	14,272	-1,581	15,743	15,651	15,574	15,510
	前年増減比(%)	-1.16		-1.04	-2.56	-0.92	-2.71	-0.80	-5.83	-	-0.69	-0.58	-0.49	-0.41
	車両数(両)	32	32	32	32	32	32	32	32	0	32	32	32	32
	職員数(人)	109	109	107	114	104	105	104	105	1	108	106	106	105
	正職員数	69	69	69	69	66	67	66	67	1	66	66	66	66
経常収支	嘱託職員等	40	40	38	45	38	38	38	38	0	42	40	40	39
	営業収益	1,012	1,023	1,002	991	987	1,005	977	1,010	33	968	963	954	948
	うち料金収入	953	965	942	939	927	944	917	939	22	907	901	892	886
	営業外収益	293	280	288	286	295	302	300	302	2	321	314	313	302
	うち一般会計補助金	203	197	198	201	204	215	209	219	10	230	223	222	212
	経常収益計	1,306	1,303	1,290	1,277	1,282	1,306	1,277	1,312	35	1,289	1,276	1,266	1,250
	営業費用	1,230	1,202	1,231	1,228	1,171	1,145	1,168	1,167	-1	1,276	1,219	1,204	1,212
	人件費	611	592	626	610	558	538	567	555	-12	670	630	584	622
	うち職員給与費	486	480	490	478	472	440	481	445	-36	489	487	493	505
	うち退職金	37	25	50	49	0	0	0	8	8	87	52	0	26
	経費	453	433	448	449	449	435	442	430	-12	433	427	420	402
	動力・燃料費	50	47	50	48	50	50	50	51	1	50	50	50	50
	修繕費	252	236	249	239	255	236	251	235	-16	246	244	240	225
	その他	151	150	148	162	144	149	140	144	4	137	133	130	127
	減価償却費	166	177	159	169	165	172	160	182	22	173	163	200	188
	営業外費用	75	61	70	53	65	51	61	46	-15	57	59	59	60
	うち支払利息	31	32	28	27	25	23	23	20	-3	21	26	28	28
	予備費													
	経常費用計	1,305	1,263	1,302	1,281	1,237	1,196	1,229	1,213	-16	1,333	1,278	1,263	1,271
	差引	1	40	-12	-4	45	111	48	99	51	-44	-2	3	-21
特別損益	特別利益	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	差引	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118
	純損益	118	158	106	81	163	204	166	192	26	74	116	121	97
資本的収支	資本的収入	163	153	279	266	317	351	344	470	126	414	291	188	209
	うち企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	43	350	218	149	95
	うち市・国補助金	78	78	133	132	157	168	209	234	25	64	73	39	114
	資本的支出	298	296	396	389	399	440	424	559	135	480	367	306	335
	うち建設改良	120	118	216	209	230	271	265	396	131	350	253	184	224
	うち企業債償還元金	178	178	180	180	169	169	159	163	4	130	114	122	111
	差引	-135	-143	-117	-123	-82	-89	-80	-89	-9	-66	-76	-117	-126
補填財源		284	334	265	248	328	375	325	371	46	247	279	321	285
単年度資金過不足額		149	190	148	125	246	285	246	282	36	181	203	204	195
累積資金過不足額		-1,023	-980	-875	-855	-629	-569	-383	-288	95	-202	1	205	364
軌道事業分		31	72	61	112	189	305	317	493	176	380	465	551	592
自動車運送事業分		-1,054	-1,052	-936	-967	-818	-874	-700	-781	-81	-582	-464	-346	-228
※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。														0

## (2) 建設改良計画 (単位:百万円、税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
改良施設	軌道改良	200m	200m	400m	400m	400m	434.5m	100m	166m	+66m		200m	200m		300m	200m
	分岐器改良	1か所	1か所													
	安全地帯上屋設置	1か所	1か所		1か所											
	駒場変電所改良							実施設計	実施設計		機器製作	取付等				
	電路改良															
	超低床電車購入							1両	1両					1両		
	電車車体改良			1両	1両	1両	1両						1両			
	電車車体大規模改修											2両	1両	1両	1両	1両
建設改良費 計		120	118	216	209	230	271	265	396	131	350	253	184	224	143	141
財源内訳	企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	43	350	218	149	112	91	90
	国補助金	18	18	35	40	35	46	65	89	24	0	18	18	56	26	26
	市補助金	18	18	35	30	35	35	65	66	1	0	18	18	56	26	26
	工事負担金						33		57	57						
	自己資金		7		6		7		5	5						
計		120	118	216	209	230	271	265	396	131	350	253	184	224	143	141

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

## (3) 一般会計補助金総括表 (単位:百万円、税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
施設改善関係	222	231	256	265	288	303	316	330	14	258	244	244	270	254	237	
	減価償却費	131	140	130	138	141	145	140	153	13	173	163	186	174	198	183
	企業債償還元利金	74	73	91	89	112	110	102	98	-4	85	64	32	30	30	29
	LRT関連補助	18	18	35	30	35	35	65	66	1		18	18	56	26	26
	基礎年金拠出金				3		13	9	13	4			9	9		
	その他				5											
施設維持保守関係	34	25	34	27	34	33	34	34	0	34	34					
施設等保守費	34	25	34	27	34	33	34	34	0	34	34					
累積資金不足額処理関係	125	120	124	86	123	94	122	94	-28	120	119	118	118	118	110	
累積資金不足額解消	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118	118	110	
一時借入金利息	7	2	6	1	5	1	4	1	-3	2	1					
合 計	381	376	414	378	445	430	471	458	-13	413	397	362	388	372	347	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

## (4) 累積資金不足額の処理計画 (単位:百万円、税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
処理額	前年度末累積資金不足額	1,172	1,170	1,054	1,052	936	967	818	874	56	700	582	464	346	228	110
	資金不足解消額	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118	118	110
	支払利息	7	2	6	1	5	1	4	1	-3	2	1				
	計	125	120	124	86	123	94	122	94	-28	120	119	118	118	118	110
資金不足残額	1,054	1,052	936	967	818	874	700	781	81	582	464	346	228	110		

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

## 2 収入に係る対策

## (1) 料金制度について

対策項目	(ア) 均一料金制度についての検討の継続					
対策内容	利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

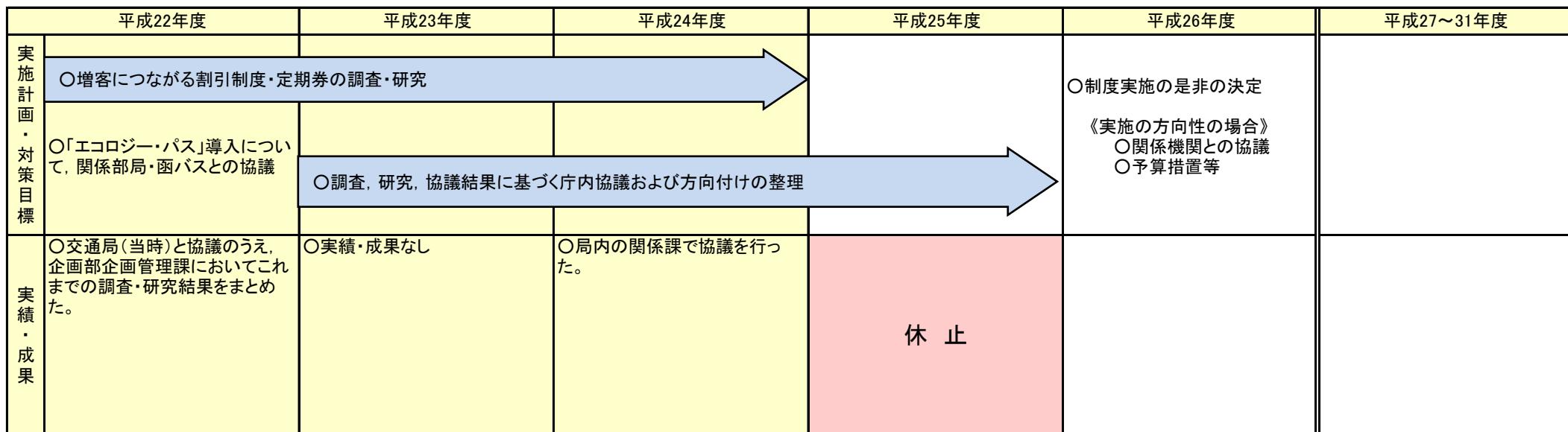
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○乗客動向調査の実施 ○均一料金の試行等による基礎的なデータ収集		○収入への影響等の検討、庁内協議および方向付けの整理		○函館バスや一般会計との協議 ○制度実施の是非の決定  《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
実績・成果	○担当者間の協議を4回開催し、熊本市での実施状況を調査した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	○局内の関係課で協議を行った。		

平成25年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	平成26年度からの消費税率改定に伴う認可申請にあたりODデータの収集・分析を行ったことから、均一料金制度の検討材料として活用可能となったほか、運賃改定に伴う函館バスとの協議において、今後、運賃に関する様々な協議を行うことで合意した。							
今後の方向性	今後もODデータの収集・分析を続けていくとともに、函館バスとも協議を行い、総合的な運賃体系の検討を進めていく。							
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。							

## 2 収入に係る対策

## (1) 料金制度について

対策項目	(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し					
対策内容	「エコロジー・バス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課



平成 25 年度					
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない	<input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない	
評価理由	【参考：平成24年度の記載内容】 格安で電車・バスへ乗ることができるエコロジー・バスについては、交通事業者だけでなく市の支援も必要であるが、市の財政状況が非常に厳しい状況であることや、現在市において総合交通施策の調査を行っていることもあり、当面検討を休止する。 また、定期券等割引率の見直しについても、消費税率改定等により今後の料金収入の動向が把握しづらいことなどから、当面検討を休止する。				
今後の方向性	【参考：平成24年度の記載内容】 新たな割引体系検討の一環として、ICカードシステムの導入検討状況と合わせて料金優遇措置などの検討を行うこととする。				

経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 状況により一度休止のはやむを得ないと考えることから、今後の方向性のとおり進めて行くことが望ましい。
----------	---

## 2 収入に係る対策

## (1) 料金制度について

対策項目	(ウ) ICカード等新媒体の調査・研究					
対策内容	ICカード、モバイル等新媒体の調査・研究を行う。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○ICカード等の導入事例および実態についての調査・研究			○局内協議および導入可否の整理	《実施の方向性の場合》 H26~27 ○導入に向けた基本調査、関係機関との協議 H28~ ○仕様作成、積算、予算措置、導入実施	
実績・成果	○実績・成果なし	○実績・成果なし	○導入費用などについて調査した。	○関係機関での協議および道内の先行導入事業者への実態調査および協議を進めた。 ○ICカードシステムの開発業者への調査を行った。		

平成 25 年度							
評価	A. 完了した			B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている			
	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない			<input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない			
評価理由	初期投資に多額の費用を要し交通事業者単独での導入は難しいことから、市・局・函館バスで国の補助制度を活用した導入等の協議を進めるとともに、道内の先行導入事業者（札幌市交通局・旭川電気軌道・道北バス）への導入時および導入後の状況等の調査を行った。また、ICカードシステムの関係業者からの情報収集を行った。						
今後の方向性	市や函館バスと連携を図り、国の補助制度を活用したICカードシステムの導入について検討を進める。						
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。						

## 2 収入に係る対策

## (2) 乗客サービスについて

対策項目	(ア) 職員の接遇マナーと企業意識向上の徹底					
対策内容	職員全員に対し、乗客接遇マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○乗務員を対象とした接遇研修を実施する。	○乗務員、窓口業務を中心とした接遇研修を実施する。	○運輸サービス業に適した講師による接遇研修を実施する。 ○ホームページ等による利用者の意見等を伺う方策を検討する。	○全職員を対象とした接遇研修の実施		
実績・成果	○添乗指導での接遇のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接遇研修を行った。	○添乗指導での接遇のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接遇研修を行った。 ○企業局および市役所で実施した接遇研修やクレーム研修に乗務員、電車内勤者等の現場対応者を参加させた。	○運輸サービス業に適した講師による接遇向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。	○運輸サービス業に適した講師による接遇向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。		

平成25年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない			
評価理由	職員の接遇マナーの向上について、全乗務員を対象とした研修を行った。							
今後の方向性	平成24年度から実施している研修は、接遇マナーの向上のみでなく、接遇に関する具体的事例の情報交換および職員間での対応方針の統一化に役立っている。引き続き、このように効果的な接遇向上のための研修を実施していくとともに、市等の研修も活用しながら職員全体の接遇マナーの向上を図っていく。							
経営懇話会意見等	研修内容を工夫するなどし、一層の接遇マナーの向上に努めてもらいたい。							

## 2 収入に係る対策

## (2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築					
対策内容	乗客需要に対する効率・効果的な営業時間、運行時分、本数・間隔等について検討を行い、運行体制の再構築を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○現行ダイヤの検証			○検証結果や乗客動向から、ダイヤ改正について検討する。		
実績・成果	○6年ぶりとなるダイヤ改正(大幅改正は平成5年度以来)を行った。 ○ダイヤ改正時に予想した運行密度の検証を行った。(区間時間延長により、乗り残しの発生がないか等)	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○運行実態調査を行い、所要時間等の乖離がないか調査をした。	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○今年度は、節電に合わせて間引き運転を行ったが、大きな混乱は無かった。	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○昨年度に引き続き、節電に合わせて間引き運転を行ったが、大きな混乱は無かった。 ○北海道新幹線の開業後の乗客動向を検証したうえで、ダイヤ改正等を検討することとした。		

平成25年度							
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した		<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	イベントの開催時に増車運行を行うなど、効率的な運行に努めた。 ダイヤ改正等については、これまで実施した増車・間引き運転等の検証を進めるとともに、平成28年3月に予定されている北海道新幹線の開業による乗客動向を見ながら検討することとした。						
今後の方向性	今後も利用者のニーズに合わせた運転を計画し、利便性の向上を図るとともに、北海道新幹線の開業等による乗客動向等の把握に努め、効率的・効果的な運行ダイヤの改正等について検討する。						

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 2 収入に係る対策

## (2) 乗客サービスについて

対策項目	(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策					
対策内容	電車内の液晶画面や広告スペースを活用して、広く市民向けの市政情報や来訪者向けの地域・観光情報を積極的に発信する方策を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○液晶ディスプレイ以外の機器設置の可能性を調査					
実績・成果	○液晶ディスプレイを15両の電車内に設置した。 ○営業車両の全車両に対し、無線LANによるインターネットに接続出来る環境を整備し、通信サービスの向上を図った。	○無料で閲覧出来る観光情報を発信するとともに、利用実績などを調査する。				

平成25年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	インターネットに接続できる無線LANの通信事業者が増えたことにより、更に通信サービスの向上が図られた。また、タブレット型端末を利用した情報発信の手法について調査した。(H23 : Hakodate City Wi-Fi, H25 : ソフトバンク Wi-Fi)							
今後の方向性	今後も引き続き、情報端末などを利用した情報発信の手法を検討し、利用者が電車内で情報を収集しやすい場となるように努める。							

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 2 収入に係る対策

## (2) 乗客サービスについて

対策項目	(I) 他の交通機関との連携強化					
対策内容	乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○関係機関との協議および連携強化					
実績・成果	○港まつりのイベント開催時ににおいて、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。 ○レトロ電車運行期間において、観光客の利便性の向上を図るために、レトロ電車「箱館ハイカラ號」(企業局)と「箱館浪漫号」(函館バス)との接続運行を行った。	○港まつりのイベント開催時ににおいて、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。 ○レトロ電車運行期間において、観光客の利便性の向上を図るために、レトロ電車「箱館ハイカラ號」(企業局)と「箱館浪漫号」(函館バス)との接続運行を行った。	○平成23年度と同様に、函館バスと連携した乗客輸送を行った。 ○初めて、JR北海道・函館バス・企業局の3事業者が連携した事業「はこだて旅するパスポート」に着手した。	○平成24年度と同様に、函館バスとの連携した乗客輸送を行ったほか、新たにミッドナイトラムとミッドナイトバスの接続運行も実施した。 ○JR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「はこだて旅するパスポート」については、本格的に通年販売となった。		

平成25年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	従前から実施している函館バスとの連携に加え、企業局が12月に実施している深夜便運行(ミッドナイトラム)に合わせて、函館バスによる新たなミッドナイトバスの運行が開始され、五稜郭での接続運行を行った。また、函館市を含めた5市町でJR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「はこだて旅するパスポート」については、本格的に通年で販売されることとなった。							
今後の方向性	今後も函館バスとの連携による運行を行っていくほか、北海道新幹線開業に向け関係交通機関との連携を強化していく。							

経営懇話会意見等	利用者への周知方法をさらに工夫しつつ、今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	---

## 2 収入に係る対策

## (3) 広告料収入について

対策項目	(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進					
対策内容	電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○積極的なPR活動および利用勧誘 ○利用促進等についての検討・整理					
実績・成果	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券 平成25年9月で契約終了  【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫		

平成 25 年度					
評価	評価基準				
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する				
評価理由	魚市場通電停（函館信用金庫）は更新されたが、五稜郭公園前電停（野村證券）については、9月で契約が終了した。また、電停周辺企業への制度の周知は図られていると考えるが、利用の申込みが無い状況にある。				
今後の方向性	電停ネーミングライツ制度の利用促進が図られるよう、PR効果が高いと思われる電停周辺への移転や新規開業した企業を中心とした勧誘に努めるとともに、電停広告などを含めた広告効果などを検討する。				

経営懇話会意見等	利用促進が図られるよう多方面から検討していくのが望ましい。
----------	-------------------------------

## 2 収入に係る対策

## (3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売					
対策内容	車内および車外を利用した、新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○新たな広告商品の開発と販売促進					
実績・成果	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」 ○「車内ストラップ広告」	○芸能人の吹き替えによる電停案内を行った。 ○車体の部分ラッピング広告	○企業の記念イベントにより、期間限定の車体広告を行った。 ○車内にミントの鉢植えを置くなど、新たな広告手法を試行し、話題になった。		

平成25年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	企業等とのタイアップイベントを通じて、新たな手法を試みるなど広告の利用促進が図られた。							
今後の方向性	電車を利用した広報活動やイベント等での活用について、広告代理店や企業への周知を図りたい。また、低床車両が3両となったことから、この車両を利用した新たな広告商品について検討する。							

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 2 収入に係る対策

## (3) 広告料収入について

対策項目	(ウ) 広告料金の改定についての検討					
対策内容	広告料金の単価等の改定について検討する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○広告料金の調査・研究 ○他の軌道事業者の広告料金を調査する					
実績・成果	○公営他事業者、4者の調査を実施した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	休止		

平成25年度						
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する					
評価理由	【参考：平成24年度の記載内容】 計画策定当初はカラー電車などが人気であり、広告料金の値上げをイメージし対策項目としたが、昨今の経済状況から広告料金の値上げについては非常に厳しい状況であるため、広告料金の改定については当面休止する。					
今後の方向性	【参考：平成24年度の記載内容】 今後、新幹線の開業などにより、観光客の入り込みや市内経済状況の好転が予想されるため、時期をみて再開する。					

経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 消費税増税後の社会情勢なども考慮した上で再開してはどうか。
----------	---

## 2 収入に係る対策

## (3) 広告料収入について

対策項目	(I) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売
対策内容	電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○オリジナルグッズの開発・販売促進の充実・強化 ○電車事業のイメージアップと収入増加					
実績・成果	【商品】 ○カレンダー ○時計 ○箱館ハイカラ號のダイキャストカー ○箱館ハイカラ號とハローキティのコラボ商品 ○定期券レプリカキー ホルダー	【新規商品】 ○東京都の交通100周年とコラボしたDVD ○鉄道むすめのキャラクターを利用した「マナー ポスター」や「ドア 捜み 注意ステッカー」	【新規商品】 ○鉄道むすめキャラクター「ミニスタンプ」と「IDカード風バッジ」のセット ○函館市電8000形プラモデル ○特製バッジとオリジナルフレーム切手セットほか	○販売を継続するオリジナルグッズを整理した。 【新規商品】 ○DVD・鉄道むすめキャラクター「キーチェーン」 【100周年記念商品】 ○100周年記念誌・オリジナルフレーム切手・クリアーファイル・USBメモリー・ポスター		

平成25年度					
評価	A. 完了した B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない E. 外的要因等により休止・中止する				
評価理由	意匠を活用した100周年記念商品の委託販売を実施したほか、独自の100周年記念商品も販売し、函館市電のイメージアップを図った。なお、既存のオリジナルグッズについては、需要の高いものなどを継続して販売することで整理を進めた。				
今後の方向性	今後も引き続き、販売を継続するオリジナルグッズの整理を行うとともに、新規商品の開発や販売促進に努める。				

経営懇話会意見等	費用対効果と販売の工夫を勘案しつつ今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	---

## 2 収入に係る対策

## (4) 利用促進について

対策項目	(ア) 全市のエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進					
対策内容	環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

実施計画・対策目標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
○利用促進対策の実施						→
実績・成果	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。 ○環境に係わる地球環境パネル展を実施した。 ○ホームページにより環境負荷が少ない路面電車をPRした。	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。 ○環境に係わる地球環境パネル展を実施した。 ○ホームページにより環境負荷が少ない路面電車をPRした。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。		

平成25年度									
評価	A. 完了した			B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている					
	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない			<input checked="" type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない					
評価理由	昨年度と同様に、関係機関と協力して環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。								
今後の方向性	今後も引き続き、関係機関との連携を図り、二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関として路面電車の利用を呼びかける。								
経営懇話会意見等	利用者の立場を十分に理解しながら、今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。								

## 2 収入に係る対策

## (4) 利用促進について

対策項目	(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施					
対策内容	路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○路面電車感謝祭等イベント開催による広報活動の実施					
実績・成果	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 ○函館キッズタウンに参加	【100周年イベント】 ○開業100周年記念大正時代の花電車出発式、100円均一運行、車内絵画展等 【その他のイベント】 ○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行		

平成25年度						
評価	□ A. 完了した □ B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている □ C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない □ D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない □ E. 外的要因等により休止・中止する					
評価理由	路面電車開業100周年イベントを開催したほか、路面電車感謝祭をはじめとする各種催しなどを継続実施した。					
今後の方向性	今後も引き続き、イベント開催による広報活動を行い、市民の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。					

## 2 収入に係る対策

## (4) 利用促進について

対策項目	(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充					
対策内容	定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充					
実績・成果	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を開催し、路面電車を利用した観光案内等を行った。 ○路面電車の日や鉄道の日に街頭PRを実施した。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日に街頭PRを実施した。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日に街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトラム)運行に合わせ、湯の川地区のホテルを訪問し、PR活動を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日に街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトラム)運行に合わせ、湯の川地区等のホテルを訪問し、PR活動を行った。		

平成25年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め、利用促進を図った。また、12月に実施した深夜便運行では、湯の川地区を中心に電車沿線のホテルを訪問し、ポスターの掲出をお願いするとともにPR活動を行った。							
今後の方向性	電車を利用した市内観光など、積極的にPRを行っていく。							
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。							

## 2 収入に係る対策

## (4) 利用促進について

対策項目	(イ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
対策内容	沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
実績・成果	○中島れんぱい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○湯の川電停のイルミネーションを実施した。(湯川商店街振興組合) ○バル街電車を運行した。	○中島れんぱい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○黒船イベントに開催に係る増車運行を行った。(函館黒船地域活性化協議会) ○バル街電車を運行した。	○前年度までの取り組みについて継続して実施した。 ○新たに、自由市場と協力し、電車専用一日乗車券提示による割引案を取り決めた。	○前年度と同様な取り組みを、継続して実施した。 ○自由市場で買い物した際、電車専用一日乗車券を提示することで、100円のキャッシュバックが受けられるサービスが実施された。 ○GLAYのコンサートに合わせた増車運行やオリジナル1日乗車券の作成・販売を行った。		

平成25年度									
評価	A. 完了した			B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている					
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている					
評価理由	電車沿線で開催される各種イベントの実施と連携を図り、利用の拡大に努めたほか、新たに自由市場と協力し、買い物をしたお客様が市電一日乗車券を提示することで、100円のキャッシュバックを受けられるサービスが実施された。また、7月に行われたGLAYのコンサートでは増車運行を行うとともに、オリジナル一日乗車券を作成し、函館空港や市内のホテル・旅館、函館駅前安全地帯などで販売を行ない、利用促進に大きな効果があった。								
今後の方向性	今後も引き続き、沿線地域企業・団体等が行う各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努める。								
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。								

## 2 収入に係る対策

## (4) 利用促進について

対策項目	(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進					
対策内容	旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供とともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進					
実績・成果	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーの車内積み込みを実施した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。 ○パック旅行に組込みやすい商品として、旅行会社のオリジナル一日乗車券を発行した。	○前年度と同様、旅行代理店等との連携による利用促進を図った。 ○新たな企画として、平成26年度に函館港に入港するクルーズ船の乗客を対象とした、市電を利用した観光プランが、旅行代理店との連携により商品化された。		

平成 25 年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	前年度と同様に、車庫見学を含めたツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習等を提案し、観光客等の利用促進に努めた。また、旅行代理店と連携し、平成26年度に予定されているクルーズ客船の定期寄港に向けて、市電を利用した函館の観光施設を巡るプランが新たに商品化された。(H25修学旅行 430件, H25ツアーアクティビティ32件)							
今後の方向性	今後も引き続き、旅行代理店や観光コンベンション団体と連携し、観光客等の利用促進に努める。							

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 2 収入に係る対策

## (4) 利用促進について

対策項目	(カ) 交通事業等についての情報発信の強化					
対策内容	市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○乗継制度等についての周知のための広報の検討・実施					
実績・成果	○乗継制度等について、函館バスと協力し、車内にポスターを掲示した。 ○ホームページ掲載の路線図を英語表記を追加した。	○電停広報装置を設置し、遅れなどの運行障害発生情報の発信を開始した。 ○ホームページ掲載の路線図を多言語表記にした。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベント等の情報をホームページやフェイスブックで発信した。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベントや日々の情報をホームページやフェイスブックで発信した。 ○JIS規格等に対応したシステムを導入する市ホームページへの移行作業を進めた。		

## 平成25年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない	<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	路面電車開業100周年や毎年実施している記念事業、各種イベントへの取組状況、日常の話題等をフェイスブックで発信し好評を得た。また、交通部独自で運用している函館市電のホームページについては、JIS規格への対応やページ読み上げ機能等があるシステムを導入し、平成26年度にリニューアルされる市ホームページへの移行作業を進めた。		
今後の方向性	今後も引き続き、インターネットの活用を図りながら、充実した情報発信に努める。		

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 3 支出に係る対策

## (1) 効率化の推進について

対策項目	(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立					
対策内容	毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立					
実績・成果	○公営企業管理者を置かないこととし、並行して水道局との組織統合と管理業務の統合について検討および協議を重ねた。  ○水道局との統合により、管理業務の効率化を図った。 ○安全管理体制の強化・確立を図るため、安全推進課を設置した。					
	○水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。	○乗務経験や専門的な知識を有する人材を将来にわたり確保し、技術継承および安全管理体制の向上を図るため、職種変更試験制度を新設した。 ○水道局と統合したメリットを生かし、今後の円滑な事務引き継ぎのための人員配置を行い、収納業務効率化の検討にも着手した。				

平成 25 年度					
評価	評価基準				
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない				
評価理由	将来にわたって事業を継続していくため、職種変更試験制度の導入による人材確保を図るとともに、水道局と統合したメリットを生かし、今後の円滑な事務引き継ぎや収納業務の効率化に向けた取り組みを行った。				
今後の方向性	事務事業の見直しを図る中で、更に効率的かつ機動性に優れた組織体制を検討していく。				

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 3 支出に係る対策

## (1) 効率化の推進について

対策項目	(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化、嘱託化推進による人件費の抑制					
対策内容	技術職員、事務職員等の担当業務について、アウトソーシング推進の見地からの評価を行い、外注化・嘱託化を推進し、人件費総額の抑制に努める。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○各所属における業務の効率化の検討	○施設整備業務の外注化拡大に向け、各種課題の解決を図る。 ○管理業務の嘱託化に向けた課題を整理・実施する。	・外注化および嘱託化の効果の検証  ○施設整備業務の外注化の拡大  ○外注化拡大の検討			
実績・成果	○施設整備業務のうち、電路設備業務と車両整備業務について委託業務の拡大を目指し、検討した。	○水道局との統合による業務の効率化(管理業務の統合)を図り、管理業務の嘱託化をH24年度から実施することとした。 ○施設整備業務については、委託体制の課題があり、外注拡大に至らなかった。	○施設整備業務については、委託体制の課題があり、外注拡大に至らなかった。	休止		

平成25年度					
評価	評価基準				
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がってない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する				
評価理由	<b>【参考：平成24年度の記載内容】</b> 外注化拡大を検討した結果、委託の拡大に当たっては受託者の環境が整備されている必要があり、将来に向けた技術継承をしていく必要もあるため、当面の間、外注を拡大することは難しい。				
今後の方向性	<b>【参考：平成24年度の記載内容】</b> 民間事業者への技術継承などを含めて課題解消に向けた働きかけを行っていく。				

経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 外注化については、一度休止するのはやむを得ないが、課題解消に向けた働きかけは、技術の継承も含め慎重に行っていくことが望ましい。
----------	---

## 3 支出に係る対策

## (1) 効率化の推進について

対策項目	(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減					
対策内容	事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○業務内容の精査・事業経費の削減			○前年度の実績評価と再検討		
実績・成果	○ダイヤ改正を行ったことによる走行キロ減における消耗品や電力量の削減を図った。 【1日あたり走行キロ】 3007.970km/平日 →2711.618km/平日・夏	○企業局の設置に伴い管理部門を一本化したことで、業務の効率化を図り、共通経費の削減を行った。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯等により経費の削減を図っている。	○平成24年度までに徹底した経費の削減に取り組んできており、引き続きコスト縮減を図っていく。		

平成 25 年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	消耗品や電力量の削減のほか、文書の運搬業務の見直し等、事務の見直しによるコスト縮減に取り組んだ。							
今後の方向性	今後も引き続き、業務に係る様々な経費について、点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。							
経営懇話会意見等	経費削減の効果を考えながら、今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。							

## 3 支出に係る対策

## (2) 建設改良について

対策項目	(ア) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進					
対策内容	車両、線路、電路等施設について、日々の安全運行の確保と将来にわたる確実な事業運営の継続を担保とするため、改修・更新を進める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所  事業費 120 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m  事業費 216 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 【線路】安全地帯改良 1箇所  事業費 230 百万円	【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 100m 【電路】変電所改良(実施設計) 1箇所(駒場町変電所)  事業費 265 百万円	【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所)  事業費 350 百万円	【車両】車体改良 1両 【車両】車体修繕 5両 【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 900m 【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所)  事業費 945 百万円
実績・成果	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所  事業費 114 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m  事業費 205 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 434.5m  事業費 268 百万円	【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 100m 【電路】変電所改良(実施設計) 1箇所(駒場町変電所)  事業費 281 百万円		

平成 25 年度						
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない				<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない
評価理由	計画していた事業を実施したほか、道路管理者の一部費用負担により交差点改良も実施した。					
今後の方向性	安全の確保と将来にわたる事業継続を担保するため、計画的な施設の改良・更新を進める。					
経営懇話会意見等	環境にも十分配慮しながら、今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。					

## 3 支出に係る対策

## (2) 建設改良について

対策項目	(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続					
対策内容	LRTシステム整備費補助金制度(現:地域公共交通確保維持改善事業費補助制度)について、国に対し、補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標						
○補助要件等の見直し要望						
実績・成果	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。		

平成25年度								
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない			<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	全国路面軌道連絡協議会などを通じて、補助率の拡充や補助メニューの拡大を要請した。							
今後の方向性	引き続き、積極的な情報収集を行うとともに、各種団体と協力しながら、機会あるごとに国に対して要望を継続する。							
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。							

## 4 一般会計からの補助

## (1) 施設改善関係に対する補助について

対策項目						
対策内容	安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①減価償却費 ②企業債償還元利金および一借利息 ③LRT関連補助 ④基礎年金拠出金ほか					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27~31年度	
実施計画・対策目標	【補助金】 ① 131 百万円 ② 81 百万円 ③ 18 百万円 ④ 百万円 合計 230 百万円	【補助金】 ① 130 百万円 ② 97 百万円 ③ 35 百万円 ④ 百万円 合計 262 百万円	【補助金】 ① 141 百万円 ② 117 百万円 ③ 35 百万円 ④ 百万円 合計 293 百万円	【補助金】 ① 140 百万円 ② 102 百万円 ③ 65 百万円 ④ 9 百万円 合計 316 百万円	【補助金】 ① 173 百万円 ② 87 百万円 ③ 0 百万円 ④ 百万円 合計 260 百万円	【補助金】 ① 904 百万円 ② 186 百万円 ③ 144 百万円 ④ 18 百万円 合計 1,252 百万円 (H27~H31の5か年合計)					
実績・成果	【補助金】 ① 140 百万円 ② 75 百万円 ③ 17 百万円 ④ 百万円 合計 232 百万円	【補助金】 ① 138 百万円 ② 90 百万円 ③ 30 百万円 ④ 8 百万円 合計 266 百万円	【補助金】 ① 145 百万円 ② 111 百万円 ③ 35 百万円 ④ 13 百万円 合計 304 百万円	【補助金】 ① 153 百万円 ② 98 百万円 ③ 66 百万円 ④ 13 百万円 合計 330 百万円	【補助金】 ① - 百万円 ② - 百万円 ③ - 百万円 ④ - 百万円 合計 - 百万円	【補助金】 ① - 百万円 ② - 百万円 ③ - 百万円 ④ - 百万円 合計 - 百万円 (H27~H31の5か年合計)					

平成 25 年度						
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない				<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。					
今後の方向性	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。					

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 4 一般会計からの補助

## (2) 施設維持保守関係補助に対する補助について

対策項目						
対策内容	安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①車両および電路、変電所等施設の維持保守経費					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円 (H27~H31の5か年合計)				
実績・成果	【補助金】 ① 25 百万円	【補助金】 ① 27 百万円	【補助金】 ① 33 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① - 百万円	【補助金】 ① - 百万円 (H27~H31の5か年合計)

平成 25 年度						
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない				<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。					
今後の方向性	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。					

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 5 累積資金不足額の処理

## (1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について

対策項目	(ア) 一般会計補助金による年次の処理					
対策内容	市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27~31年度	
実施計画・対策目標	前年累積額 -1,172 百万円 解消額 118 百万円 不足残額 -1,054 百万円	前年累積額 -1,054 百万円 解消額 118 百万円 不足残額 -936 百万円	前年累積額 -936 百万円 解消額 118 百万円 不足残額 -818 百万円	前年累積額 -818 百万円 解消額 118 百万円 不足残額 -700 百万円	前年累積額 -700 百万円 解消額 118 百万円 不足残額 -582 百万円	H27~H31の5か年合計		解消額 582 百万円		軌道事業補填 363 百万円	
	軌道事業補填 31 百万円 不足額合計 -1,023 百万円	軌道事業補填 61 百万円 不足額合計 -875 百万円	軌道事業補填 189 百万円 不足額合計 -629 百万円	軌道事業補填 317 百万円 不足額合計 -383 百万円	軌道事業補填 380 百万円 不足額合計 -202 百万円	H31末不足額 743 百万円		解消額 一 百万円		軌道事業補填 一 百万円	
実績・成果	前年累積額 -1,170 百万円 解消額 118 百万円 不足残額 -1,052 百万円	前年累積額 -1,052 百万円 解消額 85 百万円 不足残額 -967 百万円	前年累積額 -967 百万円 解消額 93 百万円 不足残額 -874 百万円	前年累積額 -874 百万円 解消額 93 百万円 不足残額 -781 百万円	前年累積額 一 百万円 解消額 一 百万円 不足残額 一 百万円	H27~H31の5か年合計		解消額 一 百万円		H31末不足額 一 百万円	
	軌道事業補填 72 百万円 不足額合計 -980 百万円	軌道事業補填 112 百万円 不足額合計 -855 百万円	軌道事業補填 305 百万円 不足額合計 -569 百万円	軌道事業補填 493 百万円 不足額合計 -288 百万円	軌道事業補填 一 百万円 不足額合計 一 百万円	解消額 一 百万円		H31末不足額 一 百万円		解消額 一 百万円	

平成25年度	
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない
評価理由	平成25年度においては、計画を上回る不良債務の解消が図られている。
今後の方向性	今後も一般会計へ計画どおりの要求をしていきたい。

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

## 6 走行環境の改善

## (1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続					
対策内容	運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議  【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握する。 ○電車優先信号の必要性の検討 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議  【電車優先信号】 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。				
実績・成果	○【軌道敷内乗入規制措置等の検討】実現に向けた検討  【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握した。 ○電車優先信号の必要性を検討した。 ○管制に信号調整を依頼した。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出し、部内協議を行った。	○信号調整については、引き続き依頼したが、管制から実施については現実的に多くの課題があり難しいとの話があり、現状で実施困難と判断した。 ○運行障害に係る具体案を抽出。(軌道敷内の右折等)	○他事業者の状況を調査したが、併用軌道であることから現状では規制する手段が無いと判断した。	休止		

## 平成25年度

平成25年度	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滯っている・全く成果が上がっていない	<input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する	<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	【参考：平成24年度の記載内容】 併用軌道であることから、法等によって乗入規制が強化されない限り、現状では実現困難と判断した。		
今後の方向性	【参考：平成24年度の記載内容】 今後は軌道敷内進入注意の啓発を強化し、走行環境の改善に努めたい。		

経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 状況により一度休止するのはやむを得ないと考えるが、状況の変化を注視していくとともに、軌道敷進入注意喚起のための方法について適時検討を続けて欲しい。
----------	---

## 6 走行環境の改善

## (1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化					
対策内容	自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

実施計画・対策目標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
○リーフレットの内容や配布方法などを見直し、より効果的な啓発に努める。	↗					
実績・成果	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ・JRA駐車場にて来場者へ配付し周知を図った。 ・丸井今井駐車場にて来客者へ配付し周知を図った。 ・交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ・タクシー協会に配付しタクシー乗務員へ周知を図った。 ・自動車学校に配付し受講者等へ定期的な周知を図った。 ・交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○新しい啓発用リーフレットを作成した。 ○引き続き啓発リーフレットを配付し、周知に努めた。	○昨年前倒しで製作した、新しい啓発リーフレットを交通安全運動の期間にドライバーに配付した。 ○自動車学校の高齢者講習やタクシー会社を通じて、啓発リーフレットが配付された。 ○路面電車専用信号についての周知を図るため、ホームページに掲載した。		

平成25年度							
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した		<input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている		<input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がってない		
評価理由	軌道敷内における電車優先運行について、昨年度リニューアルした啓発リーフレットによりドライバーへの周知を図るため、交通安全運動の期間に直接配付したほか、自動車学校の高齢者講習やタクシー会社を通じて配付された。また、一部の交差点や駒場車庫前に設置されている路面電車専用信号の周知を図るため、ホームページに掲載した。						
今後の方向性	軌道敷内における電車優先運行の啓発リーフレットによる周知活動を継続的に実施する。						

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------